



Hafa Adai(ハッフア・アデー先住チャモロ人の言語で「こんにちは(やぁ元気?)」)

<http://www.jcguam.org/jsg/top/>

2012年3月31日号

グアム日本人学校
校長 中村 宏

グアム日本人学校 その4

卒業式・修了式そして始業式・入学式 お別れと出会い

2011年度の卒業式が3月15日に行われました。小学部と中学部の卒業生が、希望を胸に巣立っていきました。ただし、小学部卒業生はそのまま本校中学部に進みます。中学部卒業生は、いよいよグアム日本人学校とお別れです。グアムの現地高校へ進学する生徒や、日本の高校への進学を予定する生徒といろいろです。

以前からお伝えしているとおり、本校には体育館がありません。そのため、卒業式や入学式などの儀式的行事は、小学部2年生～4年生までの隔壁を撤去して、広い場所を作ります。この作業が大変なのですが、1年に1回は必ず行わなければなりません。

卒業式も、グアム日本人学校小中学部、同幼稚部、そしてグアム補習授業校と3回行われます。卒業式で使った式場は、今度は入学式でも使うために、4月中旬までこのままにしておきます。その2012年度入学式は、4月13日に行われます。

本校に限らず、日本人学校は一般的に国内公立小中学校よりも春休みが長いです。それは、教員の異動や児童生徒の転校に必要な期間を確保するためです。そのため、夏休みは反対に国内校よりも期間が短いのが普通です。

3月から4月にかけて、日本国内と同じようにグアム日本人学校でもお別れと出会いが続きます。春休み中の児童生徒は、新たな出会いへの期待に胸を膨らませていることでしょう。



体育館建設 大きく前進

長い間の懸案であったグアム日本人学校の体育館建設が、いよいよ具体化してきました。

児童生徒がずっと待ち続け、関係者が声を上げ続け、募金活動もしてきたグアム日本人学校の体育館建設について、1月、外務省より「来年度の海外教育関係予算政府案に、グアム日本人学校体育館建設に係る予算が計上された」旨の連絡が入りました。外務省、そして財務省を本件が通過し、政府予算案に計上されたということは本当に大きな前進だといえます。

グアム日本人学校に体育館が出来たら…と思うだけで、実に多くの場面が、次々に頭の中にふくれあがっていくのは、グアム日本人学校関係者なら誰でも同じでしょう。炎天下ではなく体育館で行う体育の授業、跳び箱だって、ドッジボールだって、鬼ごっこだって、バスケットボールだってできてしまいます。入学式や卒業式は、広い式場で立派に執り行えるようになります。入学生や卒業生も、これまで以上に胸を張って式に臨めることでしょう。そして、学習発表会だってよその会場を借りに行かなくても体育館で出来ます。練習だって、思い切り体育館を使ってできます。本当に、本当に、早く実現すると良いなあと思ってしまう。



校庭で行う中学部体育「武道（相撲）」風景



道路側壁への壁画描き作業

グアム島では、道路に面した側壁に壁画が描かれているところがたくさんあります。偶然、その壁画を描いている場面に遭遇しました。詳しい話は聞いていませんが、ボランティアで作業を行っている風でした。

絵も、独特の味わいのあるタッチです。

後書き

私がグアム日本人学校に赴任して以来2年が終了しました。そして、いよいよ最後の年である3年目となります。

ここまでの2年間は、どちらかというところ「苦しいこと」「大変なこと」の連続であった気がします。ただ、それも過ぎてしまえば一つの思い出ではありますが、やはり一つ一つの経験をしたからには、今後の取り組みにそれらを生かすことが必要となります。全ては「子どものため」という視点で取り組むことを絶えず念頭に置くようにしています。

3年目は充実の年、そして「楽しいこと」「嬉しいこと」「やりがいのあること」がたくさんある年にしたいと考えております。